

参 考 手 本

松多く風琴に在り

※これは規定課題ではありません。

在 松

琴 多

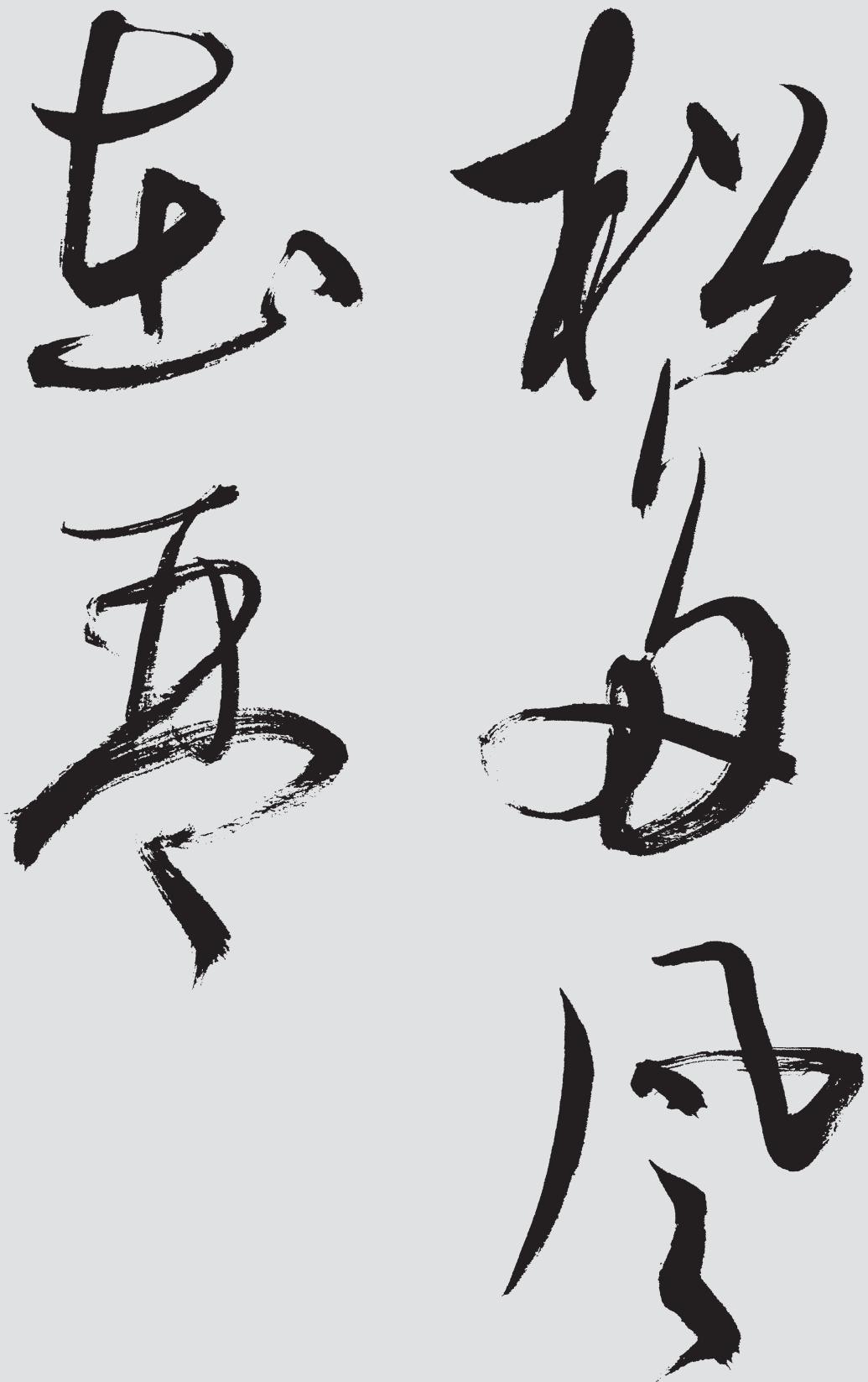
風

高木聖雨先生

参考手本

松多く風琴に在り

※これは規定課題ではありません。



高木聖雨先生

条幅規定

A部(準五段以上)
B部(四段～準三段)



『魏靈藏薛法紹造像記』
(北魏) 12

周三達。曠世所生。元。

身眷屬。捨百郭則。

鵬擊龍花。悟無生。

則鳳昇道樹。五道

群生。咸同斯慶。陸

渾縣功曹魏靈藏。

三達に周く、曠世の所生、元身の
眷屬も、ひやくしょく百郭を捨つれば則ち鵬
は龍花に撃ち、無生を悟れば則ち
鳳は道樹に昇り、五道の群生、咸
な斯の慶を同じうせんことを。陸渾
県功曹魏靈藏。

【今月の課題】

「樹。五道群生。咸同斯慶。

陸渾縣功曹魏靈藏。」

(17字)

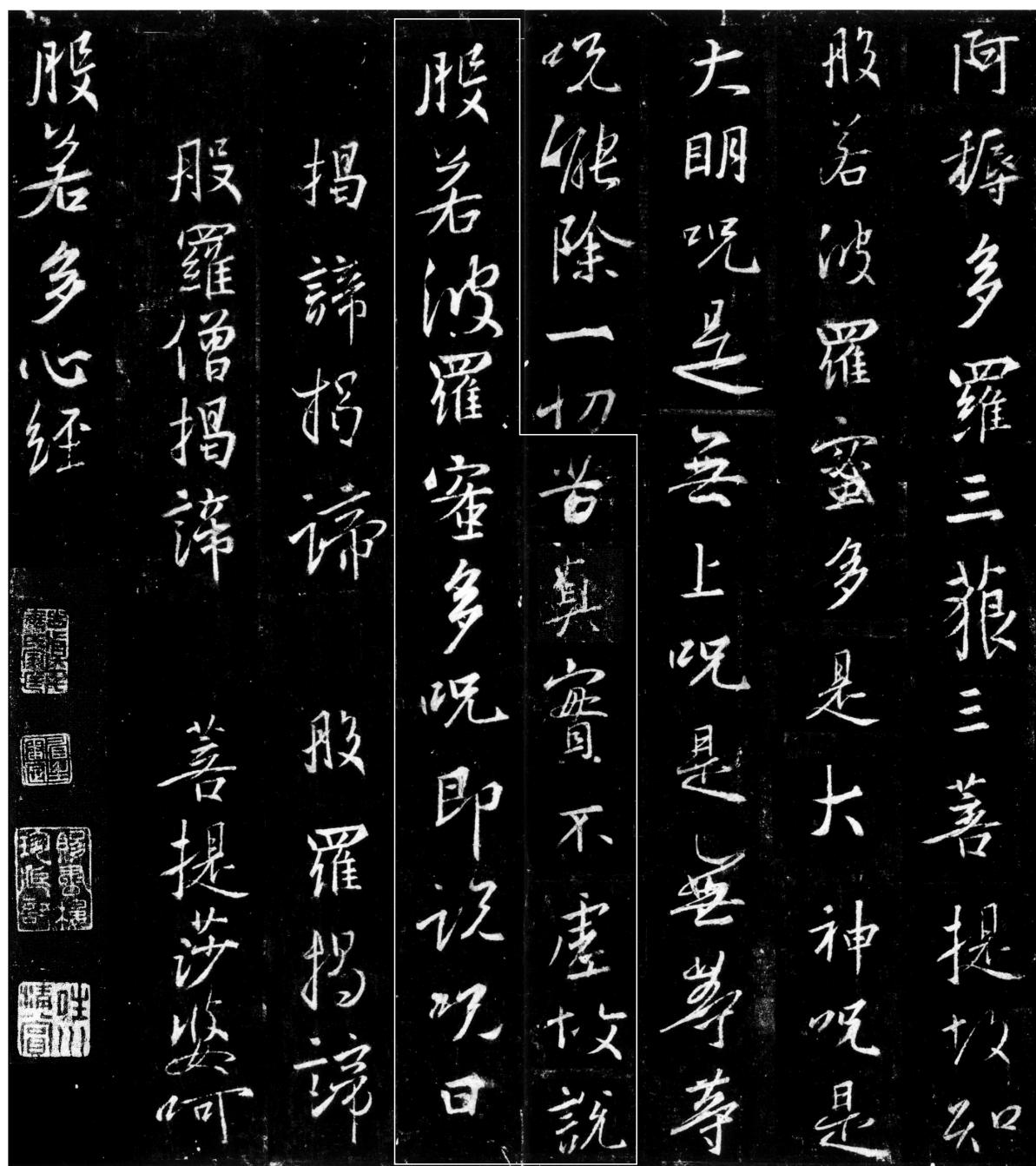
(6月10日締切)

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

[ご注意] (ご注意) (ご注意)

条幅規定

C部(二段以下)



『集字聖教序』王羲之

(得) 阿耨多羅三藐三菩提。故知。

般若波羅蜜多。是大神呪。是大明呪。

是無上呪。是無等等呪。能除一切苦。

真實不虛故。說般若波羅蜜多呪。即

說呪曰。揭諦揭諦 般羅揭諦 般羅

僧揭諦 菩提莎婆呵 般若多心經。

阿耨多羅三藐三菩提を得たり。故
に知る。般若波羅蜜多は、是れ大神
呪なり。是れ大明呪なり。是れ無
上呪なり。是れ無等等呪なり。能く
一切の苦を除き、眞實にして虚なら
ざるが故に、般若波羅蜜多の呪を説
く。即ち呪を説きて曰く。揭諦揭諦
般羅揭諦 般羅僧揭諦 菩提莎婆
呵 般若多心經。

阿耨多羅三藐三菩提を得たり。故
に知る。般若波羅蜜多は、是れ大神
呪なり。是れ大明呪なり。是れ無
上呪なり。是れ無等等呪なり。能く
一切の苦を除き、眞實にして虚なら
ざるが故に、般若波羅蜜多の呪を説
く。即ち呪を説きて曰く。揭諦揭諦
般羅揭諦 般羅僧揭諦 菩提莎婆
呵 般若多心經。

〔今月の課題〕

「苦。眞實不虛故。說般若波
羅蜜多呪。即說呪曰。」

(18字)

(6月10日締切)

半紙規定(一)

曹全碑（漢・作者不詳）



庶使學者李

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。
※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書　〔二級以下〕楷書

庶
わくは学者
李儒

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(6月10日締切)

半紙規定(二)

九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）

昔之池沼咸



※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。
※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書　〔一級以下〕楷書

昔の池沼、咸な

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(6月10日締切)

条幅参考手本

衝風觸花樹落撲吟榻一
片忽還枝知他是蝴蝶

紫仙

野口紫仙先生

衝風觸花樹 花落撲吟榻 一片忽還枝 知他是蝴蝶

風を衝きて花樹に触れ 花落ちて吟榻を撲つ 一片忽ち枝に還りしは 知る他は是れ蝴蝶なるを

大井岳陵先生

淒涼沃洲僧 頽賴柴桑宰 別來二十年 唯餘兩心在
更二十年唯餘兩心在 且隨其

淒涼沃洲僧 頽賴柴桑宰 别来二十年 唯余两心在

淒涼たり沃洲の僧 頽賴す柴桑の宰 别来二十年 唯だ両心の在るを余すのみ

条幅かな

郭公待夜ながらの五月雨にしげきあやめのねにぞなくなる（源 実朝）

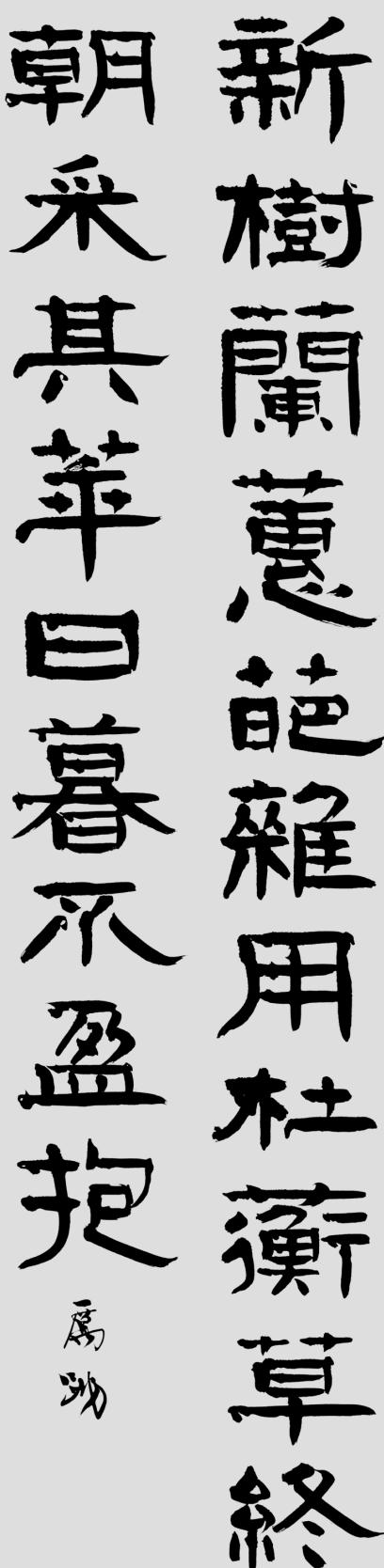


※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。

条幅参考本

新樹蘭蕙葩 雜用杜蘅草 終朝采其華 日暮不盈抱

新たに樹ゆ蘭蕙の葩 雜え用う杜蘅の草 終朝其の華を采るも 日暮抱に盈たず



板垣厲跳先生

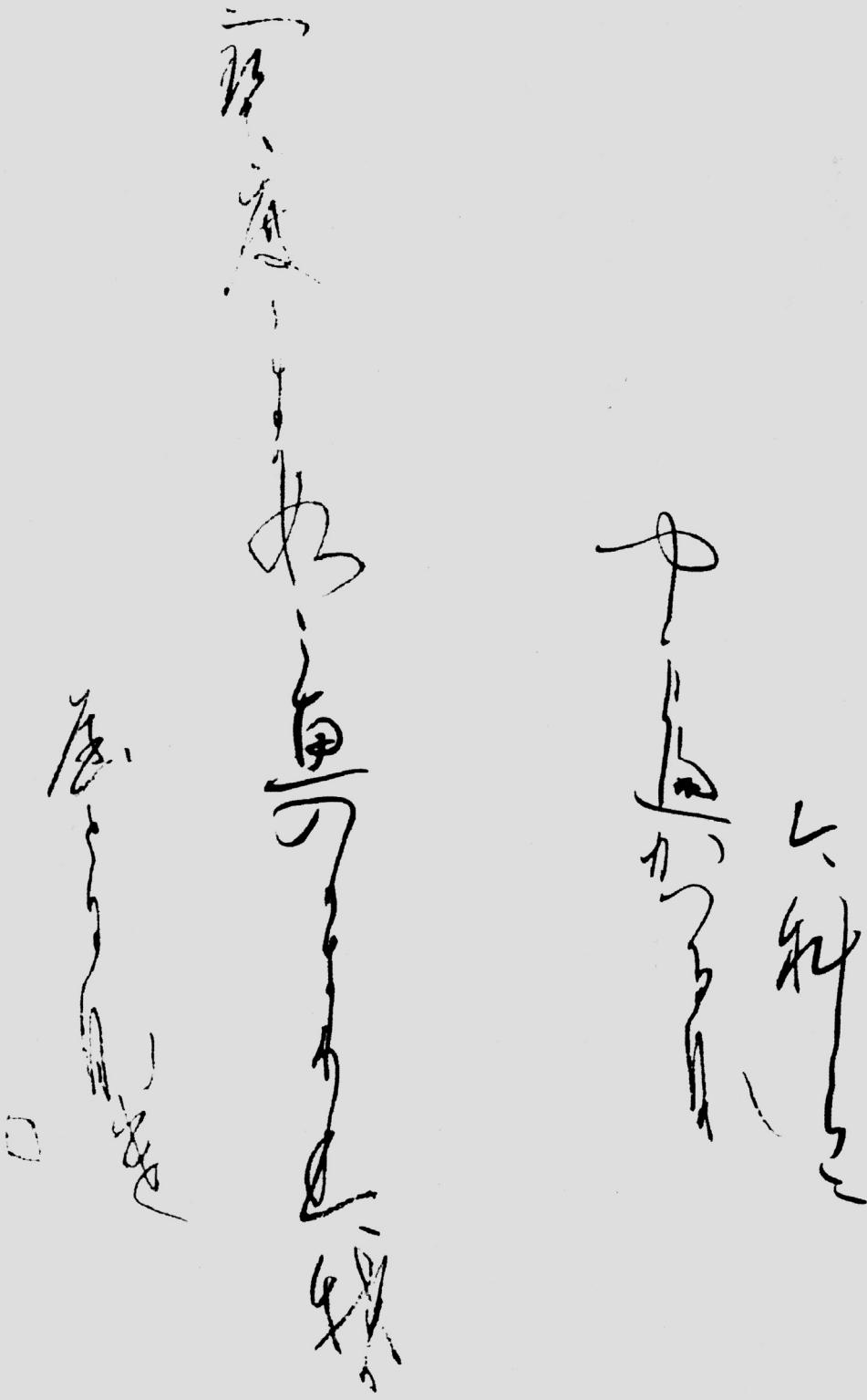
浮乘清鄉先生

半紙かな(初段以上)

今さらに山へ帰るな時鳥声のかぎりはわがやどに鳴け（よみ人しらず）
斜ニヤ万遍かへ那寶度、支數こ恵可支利盤我可屋尓那遣

支部名 段 姓 号 (鉛筆可)

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由。



浮乘清郷先生

(6月10日締切)

半紙かな（1級以下）

六月や
峯に雲置くあらし山
（松尾芭蕉）



支部名 級 姓 号
(鉛筆可)

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由。

若月久美子先生

(6月10日締切)

实用文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

支那名 段級 姓号

風枝柄やども穏かならず、露
葉夢應い寒からべ、高堂
に近づきて宿する莫かれ、
公孫禪丸を挾まん。

渡邊南嶂先生

義堂周信詩
竹雀より

(6月10日締切)

字

屋 上 家 鳩 猛 虎 眇
屋 上 家 鳩 猛 虎 眇
厓 ト あ づ 狹 虎 眇
屋 上 家 横 猛 虎 眇
厓 ト あ づ 狹 虎 眇
虎 眇 虎 眇 虎 眇
虎 眇 虎 眇 虎 眇
虎 眇 虎 眇 虎 眇

支 部

段級

姓

号

(名前は必ず楷書で書くこと)

※一級以下は草書まで。 初段以上は隸書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

睥 ^{へい}
睨 ^{げい}
にらみまわす。

硬筆（初段以上）

…最も…覚える…暑さ…吹き…爽快感…。

支那のあ
れ
姓う

風に爽快感を感じる暑さだ。

一年で最も過やすい時期と
いえる五月でも、うすらと暑さを
覺える日がある。本格的な暑さ
ではなく、汗ばむ額をひそぎる

青 柳 江 雲 先 生

(6月10日締切)

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓

号

親と子は常につかず離れず独立し
た間柄にいる事が望ましい。

本院定型用紙・たて半分に書く

若月久美子先生

硬筆（1級～3級）

支部名

級

姓

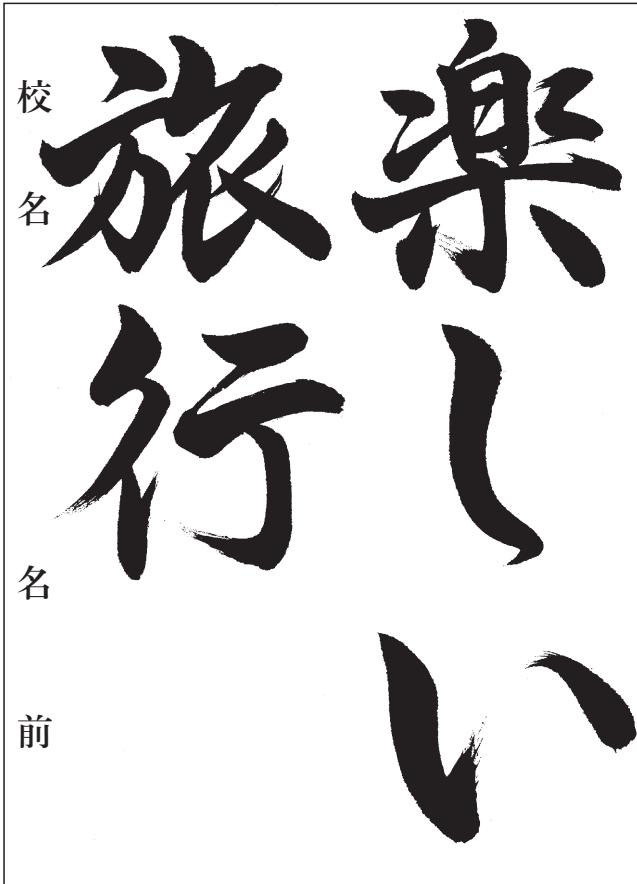
号

親と子は常につかず離れず独立し
た間柄にいる事が望ましい。

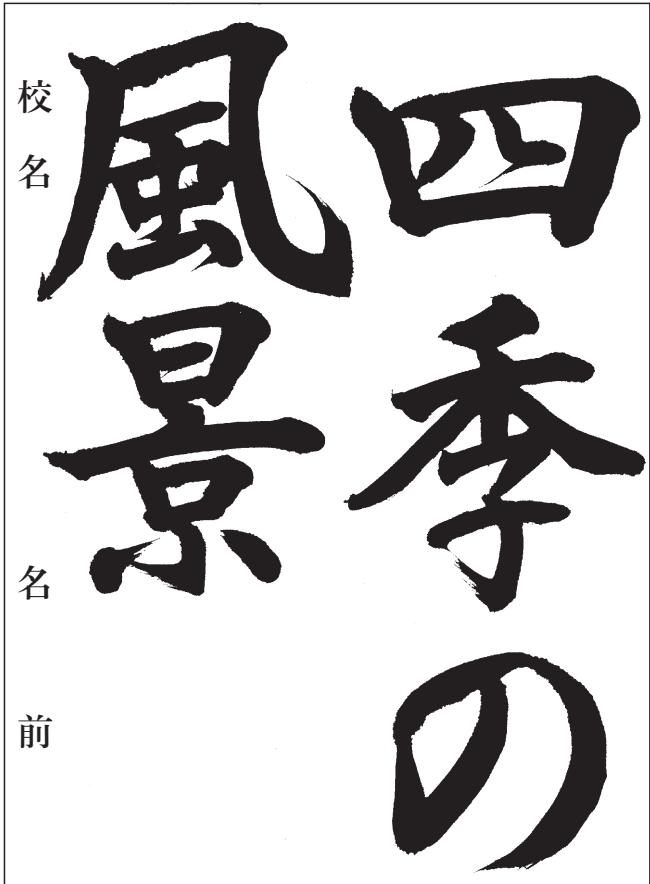
若月久美子先生

(6月10日締切)

中2用



中3用

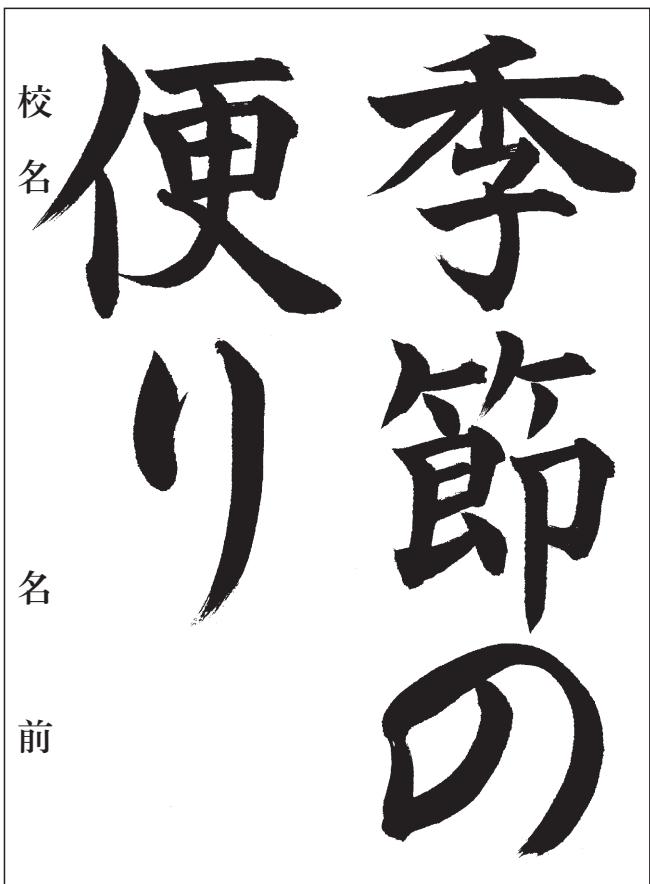


大越三宗先生

小6用



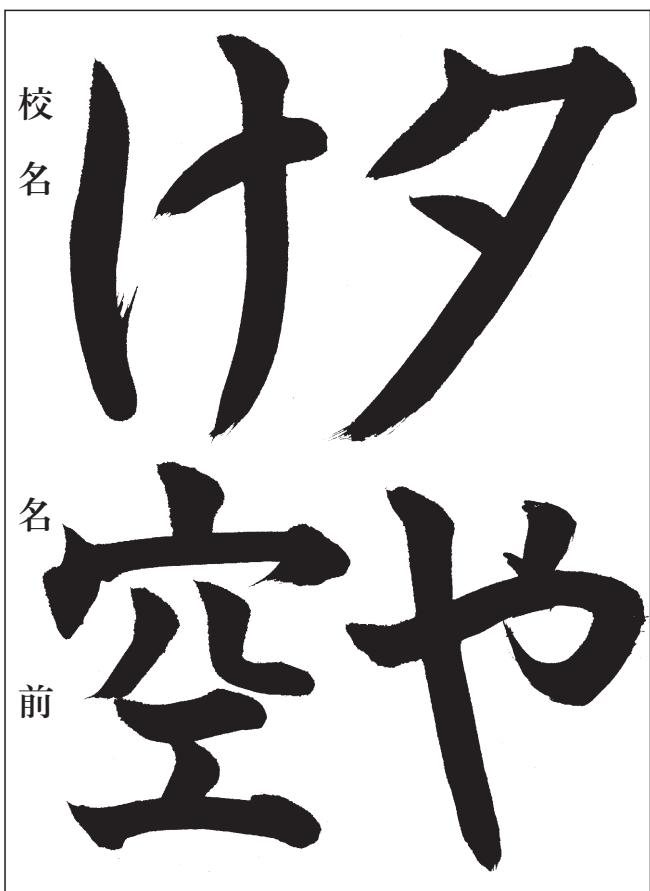
中1用



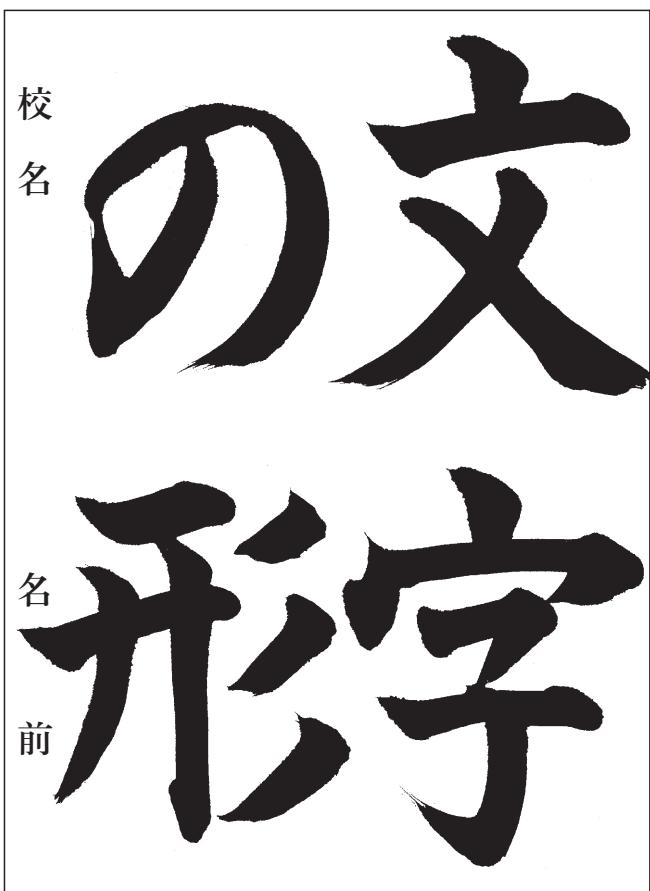
渡邊南嶂先生

学生書道コンクール課題（6月10〆切）

小4用

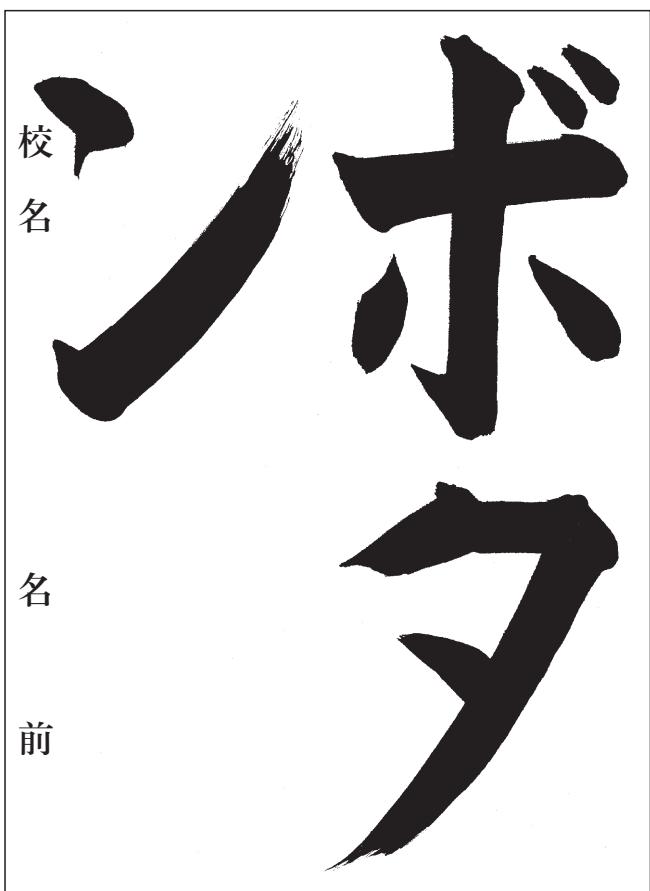


小5用



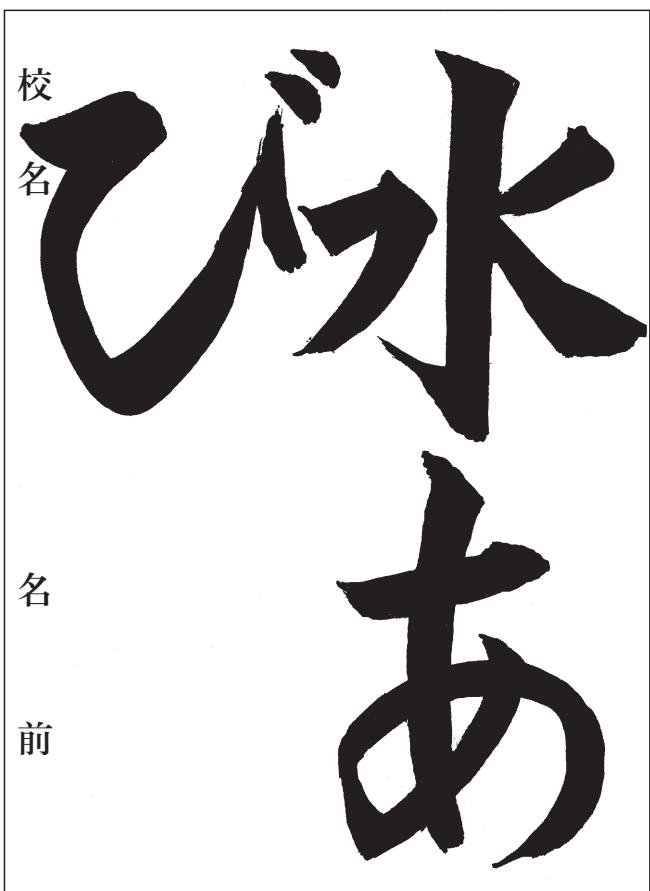
大越三宗先生

小2用



大越三宗先生

小3用



鈴木翡翠先生

学生書道コンクール課題（6月10日〆切）

中 1

今日は木陰が恋しいほ
ど、汗ばむ一日でした。ほ

中 2

新緑がまぶしい、心の
洗われる季節となつた。

中 3

科学力で生命の不思議
が、かなり解明された。

小1・幼年用

校名

名前

鈴木翡翠先生

中1～中3

青柳江雲先生

小1・幼年

小 2

花だんのバラに、てん
とう虫がとまつた。

小 3

空に、こいのぼりが元
気よくおよいでいる。

小 4

晴れた空に、白い雲が
うかんでいます。

小 5

わか葉のかがやきが美
しい季節になつた。

小 6

野原一面、黄色いきれ
いな花がさいている。

小1～小3

齊藤翡翠

流先生

小4～小6

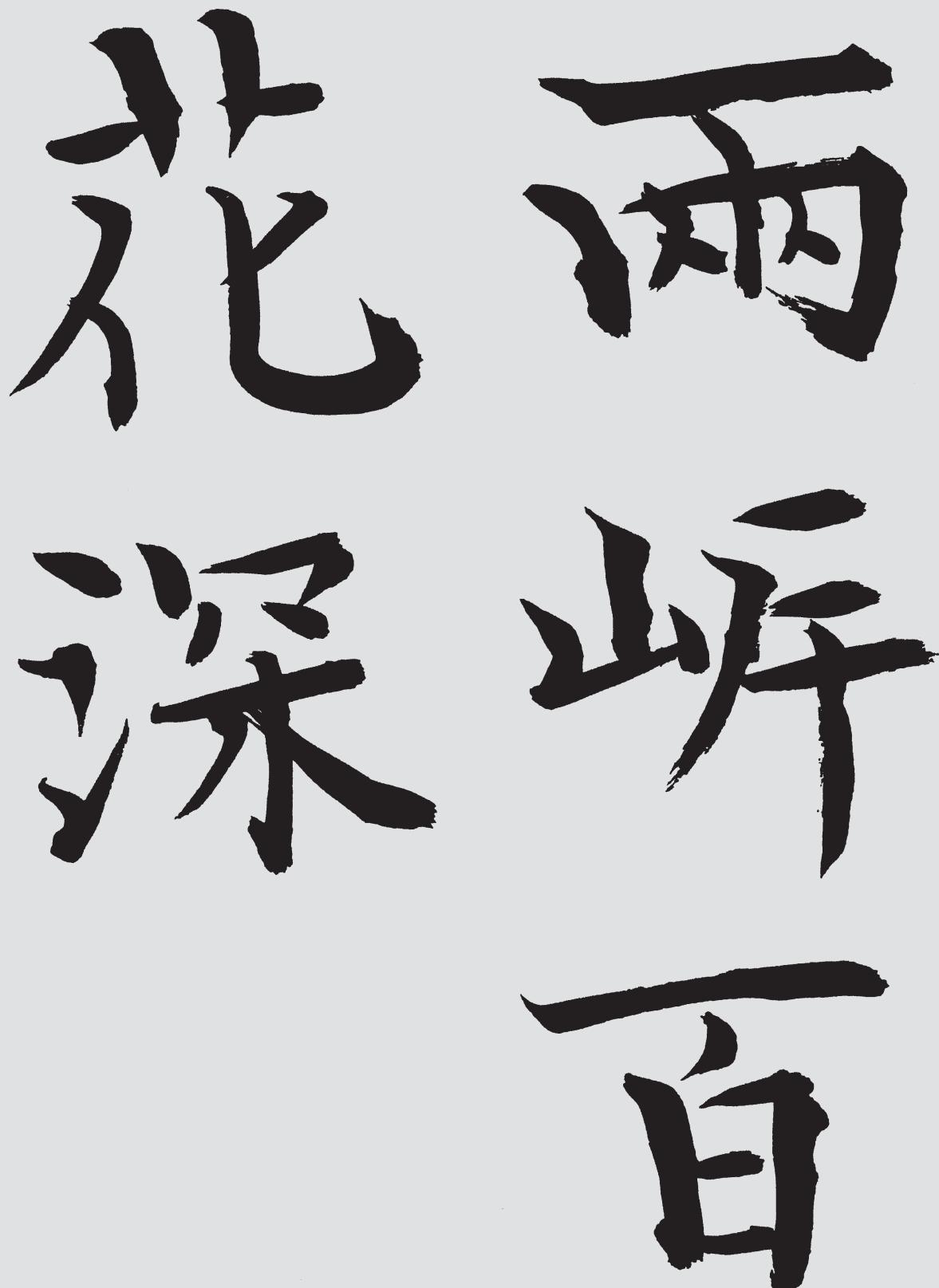
鈴木蕙

翠先生

学生書道コンクール課題（6月10日〆切）

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



成
瀬
映
山
先
生